

信州大学医学部附属病院 心臓血管外科に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2025年 4月 26日

「腹部大動脈瘤破裂症例における予後因子の検討」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	6490
研究課題名	腹部大動脈瘤破裂症例における予後因子の検討
所属(診療科等)	心臓血管外科
研究責任者(職名)	田中晴城(助教 集中治療部)
研究実施期間	医学部長による許可日～2025年12月31日
研究の意義、目的	腹部大動脈瘤破裂症例の予後因子を検討することを目的とした研究で、今後の手術治療の発展に貢献すると考えられます。
対象となる方	2009年10月1日から2023年3月31日の期間に当院にて腹部大動脈瘤破裂に対して手術治療を受けられた方
利用する診療記録	背景 年齢、性別、既往症、内服歴、喫煙歴、手術歴、術前血液検査(血清ヘモグロビン値、術前血清クレアチニン値、アルブミン値)、術前血圧、術前意識状態(GCS)、術前心筋虚血、術前ADL、 CT所見(最大腹部大動脈瘤径、動脈瘤中枢から腎動脈までの距離、動脈瘤中枢角度、血腫の広がり:Fitzgelard分類、腸腰筋CT値、腸腰筋量) 腹部大動脈瘤破裂重症度分類(Hardman Index) 手術成績 術式、手術時間、輸血量、麻酔方法、オクルージョンバルーンの有無 術後成績 早期成績 入院死亡、術後心筋梗塞、術後脳梗塞、術後腹部コンパートメント症候群、術後腸管虚血、術後肺炎、腎機能障害、術後ADL(Barthel Index) 遠隔期成績 長期死亡、死因、心血管イベント、ADLの変化

研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、術後経過について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 田中 晴城(心臓血管外科 助教) 電話:0263-35-4600

**【既存の診療記録、検査結果】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査、検体の採取】の必要はありません。**

**当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。**

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

**この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。**

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。